

概要版

第2次安曇野市文化振興計画

平成30(2018)年3月 安曇野市



計画策定にあたって

計画策定の趣旨

安曇野市が誕生して5年目に策定した「安曇野市文化振興計画」（平成23-29年度）は、合併前に設置され老朽化した文化施設を見直し、再整備する指針となりました。各地域に新たに交流学習センターと図書館が整備され、市民の文化活動は大きな転機を迎えました。豊科近代美術館の大展示室、交流学習センターのギャラリーと小ホールの新築、各公民館の改修により、これまで当市では行うことのできなかつた文化事業の可能性が広がっています。

今後、市の財政状況を展望するとき、新たな文化施設の建設は難しく、少子高齢化などに伴い多様化する市民要望を受け止めたソフト事業の充実と、既存の施設を最大限に活かした魅力ある文化活動の展開が求められます。

このような状況の中で、どうすれば市民の福祉増進と心の充足感につながる文化振興となるのか、現状と課題を見つめ新たなビジョンを描き、実現に向けて取り組む必要があります。

計画が対象とする文化の範囲

安曇野市文化振興計画では、安曇野の文化を定義する際に、「安曇野らしさ」を重視してきました。安曇野から見える美しい山岳景観や田園風景を前提としなければ、この地で育まれた文化を正しく伝えることはできないと考えたからです。豊かな自然環境は、そこに住む人々の感性を醸成します。かけがえのない自然環境の保全について施策に盛り込んだ「安曇野市文化振興計画」を継承し、第2次安曇野市文化振興計画を策定しました。「安曇野らしさ」の保持と育成を目指し、次の分野を文化の対象とし、具体的な施策の展開を図ります。

- 安曇野市特有の歴史的文化、伝統文化、独自の地域文化
- 市民が楽しむ日本文化
- 安曇野市における世界につながる文化
- 文化芸術振興の目的に沿う関連分野

計画の位置づけと期間

「第2次安曇野総合計画」及び「安曇野市の教育（教育基本計画）」に基づき、次のとおりとします。

基本理念 学ぶ心が育ち、文化のかおるまちをつくります

基本方針 多様な芸術・文化に触れることができる環境をつくり、新たな芸術・文化の創造を促進し、次代に引き継いでいくことができるまちをつくります。

基本目標

- 地域文化の振興と人材の育成
- 歴史・文化遺産の保存と活用

- 芸術文化活動の推進
- 芸術文化施設の活性化

写真で見る安曇野の文化

安曇野市が誇る様々な文化、その一部を写真で紹介します。

風土



▲世界かんがい施設遺産 拾ヶ堰



▲棚田



▲絶滅危惧種 オオルリシジミ

歴史



▲道祖神 (文字碑・双体像)



▲八稜鏡



▲国重要文化財 松尾寺本堂

民俗



▲県無形民俗文化財 穂高神社の御船祭りの習俗



▲道祖神の七夕飾り

人物



▲荻原守衛 (礪山)
(1879-1910)



▲青木祥二郎
(1914-1999)



▲熊井啓
(1930-2007)



▲白井吉見
(1905-1987)

学びとふれあい



▲YOSAKOI 安曇野



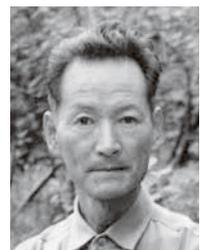
▲昔の暮らし体験教室



▲あづみ野スタイル



▲高橋節郎
(1914-2007)



▲田淵行男
(1905-1989)

第2次安曇野市文化振興計画の施策と取り組み方針



第1節 残したい安曇野の文化

1 自然環境の保全

具体的な取り組み：自然との共生

- 取り組み方針**
- ①安曇野市の貴重な自然を守るため、学び、体験する機会を設けます。また、安曇野の水の大切さを伝えるため、展覧会や講座などを開催します。
 - ②博物館において、自然分野の調査研究体制を整えるとともに、市民団体や生物多様性アドバイザーなどと連携した事業を推進します。

2 文化的景観の保全

具体的な取り組み：文化的景観の保全

- 取り組み方針**
- ①田園や里山、さらに堰や屋敷林・寺社林などを含む地域で、よりきめ細やかな景観づくりを推進します。
 - ②地域の景観づくりを行う「景観づくり住民協定団体」など協働による活動を支援することで、住民参加による景観づくりを推進します。

第2節 伝えたい安曇野の文化

3 先人の顕彰

具体的な取り組み：先人の顕彰、資料・作品の計画的な収集

- 取り組み方針**
- ①先人の顕彰を行う市民団体との連携を進め、研究者の育成や顕彰団体の活性化を支援します。
 - ②博物館、文書館の整備の中で、資料の収集方針を定めるとともに、先人の顕彰事業を展開していきます。先人の営みや偉業について知ってもらうため、学習の機会を設けます。
 - ③先人の業績の掘り起しを行うとともに、現在活躍している安曇野ゆかりの人物の表彰や支援制度を検討します。

4 地域文化の継承

具体的な取り組み：地域文化の理解と尊重、伝統文化の継承、郷土芸能の保存と継承、世代間の交流と文化の継承

- 取り組み方針**
- ①博物館などにおいては、地域の歴史や、守り伝えられてきた多様な文化を学ぶ講座や企画展を継続して実施します。育成会や公民館との情報共有を図り、地域で学習できる体制づくりに努めます。これらの講座を通して、市民の関心を喚起し、将来の講師や研究者となる人材の育成を図ります。
 - ②地域の文化を調査し、子どもたちの郷土学習などに活かします。
 - ③伝統的な祭りや催しを通じて、そこに暮らす子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民が交流を深めることにより、文化の継承並びに元気で活力ある地域社会の創造を目指します。

第3節 感じたい安曇野の文化

5 文化芸術施設の整備・充実

具体的な取り組み：美術館活動の充実、新市立博物館構想の推進、郷土資料館などの統廃合と有効活用、公民館活動の充実、交流学習センター活動の充実、図書館活動の充実、ホール事業の推進、ユニバーサルデザインに基づく施設整備

- 取り組み方針**
- ①各文化施設の運営の方針を明確にし、施設の目的に沿った整備と充実を図ります。
 - ②安曇野市新市立博物館構想の実現に向け、博物館準備センターを設置し、体制を整備していきます。
 - ③誰もが気軽に文化施設を利用でき、芸術文化に親しめる環境整備に努めます。

6 文化芸術施設の運営

具体的な取り組み：運営方法の見直し、特色ある事業運営、館外活動の充実、施設間の連携強化

- 取り組み方針**
- ①各施設の管理運営体制を見直し、効率的で効果的な事業運営を行います。
 - ②文化施設運営のための専門職員の体制を見直し、中・長期的な調査・研究ができる体制を築きます。また、文化施設運営のための専門的な人材の研修を行います。
 - ③各施設の個性を生かした公演、企画展や講座を実施するため、市民団体や関係機関と連携した事業展開を進めます。
 - ④市内外の文化施設とのネットワークに参加し、施設相互のスタッフの資質向上や意識の改善を図ります。相互に事業協力をしあう運営を目指します。

7 文化芸術活動の推進

具体的な取り組み：芸術鑑賞機会の充実、市民活動の育成支援

- 取り組み方針**
- ①市民との対話に努め、利用者アンケートなどを活用し、市民ニーズの把握に努めます。
 - ②文化事業の実施にあたって周知方法の改善を図るため、市民向けの情報発信のあり方について研究します。
 - ③市民がライフステージに合わせて幅広く文化活動に参加し、日々の生活を充実させていくため、参加できる場と機会を設けられるよう支援します。
 - ④文化芸術団体を把握し、団体が自主的かつ主体的な活動を行うために適正な支援を行います。民間の文化施設などと協働し市民が文化に親しむ機会の創出を図ります。
 - ⑤多様な文化との共生を図るため、あらゆる市民の皆さんが、発表や鑑賞ができる機会を創出し、文化芸術のバリアフリー化を図ります。

第4節 学びたい安曇野の文化

8 文化財の保存と活用

具体的な取り組み：普及・啓発活動の充実、有形文化財の保存と活用、無形民俗文化財の継承、記念物の保護と活用、埋蔵文化財の保護と活用

- 取り組み方針**
- ①有形文化財の価値を多くの市民に伝えるため公開や利用を進めるとともに、後世に伝えるため適切な保存や助言を行います。近代化遺産など、新たな文化遺産の掘り起しに努めます。
 - ②NPOや市民団体の活性化を進め、後継者の育成とともに、有形文化財の保存と活用について連携した利活用に努めます。
 - ③史跡・名勝・天然記念物（巨木・山城・古墳・屋敷跡など）についての調査を行い、保存・整備・活用に努めます。その価値をわかりやすく伝えるとともに、景観の一部として、まちづくりに積極的に活かします。
 - ④無形民俗文化財（安曇平のお船祭りなど）・産業遺産（天蚕・用水堰など）などの取材と記録化を進め、活用を図ります。

9 重要文書などの保存と活用

具体的な取り組み：歴史的価値ある行政文書の保存と活用、古文書の整理と保存、デジタルアーカイブの推進、市史(誌)の編さん

- 取り組み方針**
- ①重要文書などの所在調査・収集・整理を行い、必要な資料についてデジタル化を進め、資料保存を図るとともに多方面での利活用に供します。
 - ②市史(誌)の編纂事業に向けて、専門家や有識者と連携しながら準備を行います。各種刊行物を発行し、その利活用に努めます。

第5節 育てたい安曇野の文化

10 地域文化を支える人材の育成

具体的な取り組み：学校における文化芸術教育の充実、芸術家の育成支援、専門的な人材の確保、生涯学習リーダーバンクの充実と活用、ボランティアの育成

- 取り組み方針**
- ① 芸術家・研究者などが市内で活躍できる機会を設け、安曇野での作品の制作・公演・発表などに対し支援を行います。市民や子どもたちが芸術家・研究者と交流する機会を設けます。
 - ② 文化施設の管理運営、マネジメントにあたる人材、さらに学芸員や司書、社会教育主事など文化芸術に携わる専門的な人材を確保し、市民の文化芸術活動を支えます。市民が展示室やホールを利用する際には、学芸員や運営スタッフが適切な助言や補助を行います。
 - ③ 生涯学習リーダーバンクを充実させ、文化芸術に関する登録者の活躍の場を広げ、文化芸術活動に取り組む市民の増加や満足度の向上を図ります。
 - ④ 市民ボランティアの養成を進め、文化施設の運営を支える体制を築き、市民参加の機会を増やします。

11 地域文化の創造

具体的な取り組み：協働による地域文化学習、文化芸術関連団体との連携、支援環境の整備、(公財)安曇野文化財団の活性化

- 取り組み方針**
- ① 郷土安曇野について、市民と協働で学習を深めます。また、その成果をさまざまな方法で発信します。地域文化の振興のため、地域の要望を踏まえながら、文化を継承・創造していきます。
 - ② 市内の芸術団体の把握に努め、望ましい支援について検討します。
 - ③ 市民グループをはじめ芸術文化協会・安曇野アートライン推進協議会・安曇野スタイルネットワークなど諸団体と連携・協働して文化芸術活動を推進します。
 - ④ 国や県の助成、企業のメセナ活動の活用など、市民の文化活動を幅広く支援できる環境の整備に向けて研究を行います。また、これらの助成を活用した文化事業を実施します。
 - ⑤ 公益財団法人安曇野文化財団の自主事業の充実を促し、そのために必要な支援を行います。施設の指定管理に留まらない事業展開を行い、安曇野の文化の創出に努めるよう促します。

12 文化資源の発掘と活用

具体的な取り組み：情報の収集と発信、商業・観光との連携、友好(交流)都市との文化交流の促進、多様な文化との交流

- 取り組み方針**
- ① 情報通信技術 (ICT) など様々な媒体を活用しながら、文化芸術に関するさまざまな情報の収集と発信に努めます。ホームページの運営方針などを見直すとともに、情報の早期の発信に努めます。
 - ② 地域の伝統文化や文化財を活用した観光振興を推進し、文化資源から付加価値を生み出します。
 - ③ 多様な文化施策を図るため、国・長野県・近隣市町村・諸機関・諸団体との連携や交流を深めます。また、友好都市などとの文化交流を促進し、異なる文化についての相互理解により友好の絆を深めます。交流機会を通じ、安曇野の文化の再認識と、その魅力の発信に努めます。
 - ④ 外国籍市民や旅行者への文化情報の提供や各種事業における交流機会の充実に努め、国際性豊かな市民感覚を育みます。

計画推進に向けて

「文化のかおるまち」を築くには、市民・学校・文化芸術団体・NPO法人・企業など、さまざまな活動主体が、それぞれの立場で自主的かつ主体的に取り組むことが必要です。

(1) 文化振興の主役は市民一人一人です

市民は安曇野の文化の担い手であることを自覚し、自身の文化活動の充実や地域の文化財の保護などに努めます。また、市民同士がお互いにその文化活動を尊重するように努めます。

(2) 団体は文化振興を支えます

学校は、文化芸術に関する教育の充実に努め、子どもたちの豊かな感性や創造性、地域を愛する心などを育みます。また、施設、人材などを活用し、市民と共働して文化振興の推進に努めます。

文化芸術団体等は、自主性と創造性を発揮して特色ある文化活動の充実を図るとともに、文化の継承、発展及び創造に積極的な役割を果たします。また、広く市民に活動を公開し、市民が文化活動にふれる機会を提供します。

NPO法人・企業等の団体は、文化活動の一翼を担っていることを認識し、事業の特質や人材を活かした安曇野の文化振興に努めます。また、文化施設の設置・運営・施設相互の連携や地域の文化活動に対する支援を行います。

(3) 行政は文化振興の環境づくりに努めます

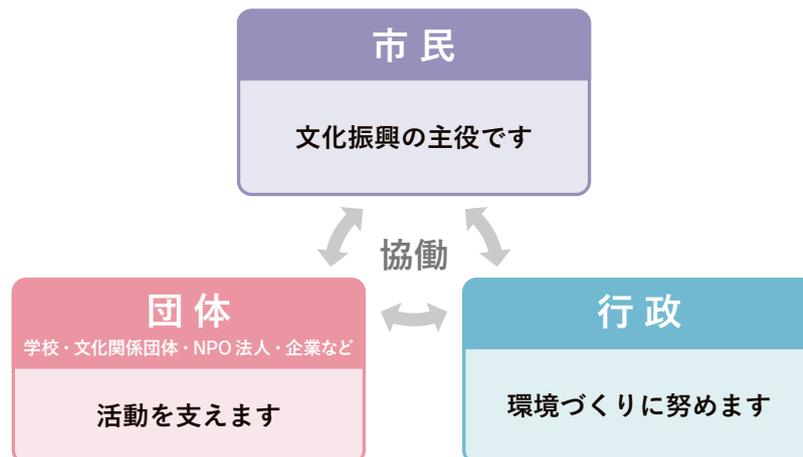
文化振興における行政の責務は、文化活動の担い手である市民の自主的活動や文化的暮らしの実現に向けた様々な取り組みを支援していくことにあります。

市は、市民が等しく文化芸術を創造し享受できる環境を整備し、必要な財政措置を講じ、個性的で魅力にあふれた文化芸術の振興に努めます。

また、本計画には、文化のみならず様々な関係部署が担当する施策も含まれています。庁内の枠組みを超えた連携を図りながら、計画の推進に努めます。

さらに、国・長野県・近隣市町村など他の行政機関や文化芸術団体、民間事業者などとも連携し、それぞれの特徴を活かしたより広域的な文化振興を図ります。

学ぶ心が育ち、文化のかおるまち



- 「第2次安曇野市文化振興計画」は、安曇野市のホームページからご覧いただけます。
- 文化振興に対するご意見・ご提言は、郵送、ファックス、メールなどで随時、受け付けています。